

2016年
7月中国四国農政局
香川県拠点

News Letter

イワシを活用した加工品を開発 ～大平水産株式会社～

三豊市仁尾町の大平水産（株）では、イワシを活用した新商品の開発に取り組んでいます。

同社は昭和20年に創業し、伊吹島沖で漁獲したカタクチイワシをいりこやちりめんじやこ等に加工し、市場を中心とした卸販売を行ってきました。しかし、近年の漁獲量の減少やいりこ需要の減少に対応するため、付加価値を加えた商品開発に取り組むこととしました。

商品の開発にあたっては、産直市やイベントでの評判も踏まえ、これまでの「出汁の原料としてのいりこ」から「いりこを活用したおつまみやお菓子」とし、また、他の商品との差別化を図るため、香川県産の食材にこだわった商品化を進めました。

漁獲したカタクチイワシは、水揚げ後すぐに加工場へ運ばれ、煮沸・乾燥を行い、いりこが完成します。



水揚げの様子



煮沸されたカタクチイワシ

同社は、平成27年2月に生産から加工・販売を一体的に行う6次産業化の取組に対して国の支援を受ける「総合化事業計画」の認定を受け、同商品のほか「ふりかけ」や「いわしのオイル漬け」の商品化も計画しており、今後の取組拡大が期待されます。



大平水産(株) 大平卓矢代表取締役

試作を繰り返し、構想から3年を経た本年3月、「いりこと黒豆のお菓子（いりくろまめこ）」が完成しました。まんのう町の農家から仕入れた黒豆や小豆島の醤油、讃岐和三盆糖を使用した新商品は、4月からインターネットやイベント等で販売されています。

大平卓矢代表取締役は、「素材にこだわり栄養満点の商品に仕上がった。子どものおやつにも、お酒のおつまみにも喜ばれている。ぜひ一度味わってほしい。」と話されています。



いりこと黒豆のお菓子



香川県立農業大学校で農業施策を説明

香川県拠点では、香川県立農業大学校（琴平町）の担い手養成科及び技術研修科の学生28名を対象に、農林水産省の施策等について説明を行いました。

この取組は、農業大学校からの要請に応じ平成23年度から実施しているもので、6月28日には「農業経営政策とTPP」「農林漁業の6次産業化」等をテーマとして施策説明と農作物の販売戦略を念頭にした演習を行いました。



担当者による説明



演習の様子

学生からは、「日本農業が置かれている現状がよく分かった」、「6次産業について詳しく知ることができよかった」、「将来、野菜を使ったケーキを作りたい」などの感想が寄せられました。

「牛乳が好き。」MILK●JAPAN中国四国フォトコンテスト2016 作品の募集について

毎年6月は「牛乳月間」です。これに合わせて消費者を対象とした「フォトコンテスト」を実施します。牛乳を飲む、乳製品を食べる、あるいは乳牛とふれあうなどのテーマに沿った作品の応募をお待ちしております。

【募集テーマ】

- ①「牛乳・乳製品の部」・・・牛乳を飲んでいる（又は乳製品を食べている）写真
- ②「乳牛とのふれあいの部」・・・乳牛・酪農とふれあう写真

【募集期間】

平成28年6月27日から9月30日まで

詳しくは、中国四国農政局ホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/chushi/press/se_chikusan/160627.html

お問い合わせは、

中国四国農政局 生産部畜産課 電話：086-224-4511（内線2451、2457）

【昨年の最優秀賞作品】

「けんかのなかなおり」



「平成28年度農薬危害防止運動」の実施について

農林水産省は、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を6月から8月にかけて実施しています。

詳しくは、中国四国農政局ホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/anzen/seisan/kigaiboushi/index.html>



編集：中国四国農政局 香川県拠点

〒760-0018 高松市天神前 3-5

TEL (087)831-8151(内線221) FAX(087)833-7291 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>